

昨年、設立10年目を迎えたRBSは、これまでに多くの修了生を輩出し、各方面で活躍されています。今回は、2005年に4期生として中国からの留学生として入学され、2007年に修了、IT企業を起業された林勝さんにお話を伺いました。



ここで学んだおかげで、知らないこともやってみようと思うようになりました。

アルゴジェーシー株式会社
代表取締役社長

林 勝さん



■林さんは現在どのようなお仕事をされていますか？

アルゴジェーシーという会社の代表取締役をしています。ITの企業で主にスマホ向けのアプリの開発と運営をしています。社名の“アルゴ”の由来は、ギリシャ神話に出てくる富を探しに行く船の名前で、日本と中国をつなぐ会社を作りたいと思って起業しました。本当は立教を卒業してすぐに経営者になりたかったのですが、卒業後、当時勤めていた会社でマネージャーに昇格しました。外国人初のマネージャー職への昇格ということもあり、新聞などにも取り上げられました。私にチャンスくれた本当に良い会社でしたが、そのおかげで辞めづらくなってしまいました。結局そこから6年間、サラリーマンをしながら、夢は忘れずに準備を続けました。

当社では、MyZoneというアプリを提供しています。スマホが持つ位置情報と手軽さを活かしたアプリで、例えば、“とりあえず飲もう！”という検索機能は、現在地から近いお店を紹介してくれます。お店側は複雑なシステムを使うことなく、スマホやWebから最新の情報を発信することが可能です。コンセプトは地域振興。シャッター商店街などの原因のひとつは情報の交流が足りないことだと思います。PRするツールが無い。昔は新聞の折り込みチラシなどがあったけど、今は新聞を取る人も減っている。MyZoneのように簡単に情報発信するツールがあれば、地域の活性化が可能だと考えています。

■RBSへはどのようなきっかけで入学されましたか？

最初は“あいうえお”もわからない状態で中国から日本に来て、沖縄の日本語学校で学びました。そして、立教に入学を決める少し前、私には3つの選択肢がありました。進学、就職、そして起業です。しかし起業はまだ早いと感じたので、日本で就職するか学生をするかのどちらかにしよう決めました。ところが就職の内定と、立教の合格通知をほぼ同時にもらって迷いましたが、両方やろうと決めました。当時は外国人留学生として合格通知をもらったので、社会人をやりながら社会人学生をやるとなると、授業の枠やカリキュラムの変更など色々大変でしたが、どうしても両輪でやりたかったので、亀川先生などに協力してもらって手続きをしました。立教を選んだきっかけは、日本でビジネスをする上での専門知識を得たいと思い、その目的に合っていると考えたからです。

■実際に入学してみてどうでしたか？

最初は本当に大変でした。日本語は母国語ではないので、専門用語の意味に苦労しました。また、課題も多く、自力でやらなくてはならないので大変でしたが、先生や仲間にも恵まれたおかげでやり遂げることができました。

■RBSで学んだことは今、どのように活かされていますか？

それはすごく役立っています。ここで一番学んだのは、“考え方”と“原理・原則”だと思います。何をやるか、どうやるかではなくて、共通したものを教わりました。何をどうやるかは、そこ

から発展させることが可能なのです。それは本当に色々なことに活かせると思います。たとえば、ここで学ばなければ自分ができること、自分の知っている範囲でしか何もしなかったと思います。ここで学んだおかげで、知らないこともやってみようと思うようになりました。私はITに詳しくありませんが、自分は社長業（経営者）でなら活躍できる、同じ夢を持ち、自分にはない能力を持つ人と一緒にやればよい、と考えられるようになりました。それが立教で学んだ考え方です。

■在学中は、その時に学んでいることがあとで役立つと感じていましたか？

全然思いませんでした(笑)。その時はレポートの期日を守ることと、ビジネスシミュレーションの仲間との激しい議論で精いっぱい…。でも、シミュレーションの仲間との苦労は今、とても役立っています。これは例えると“牛”です。牛はもぐもぐ草を食べ続けますが、一度では消化しきれません。あとで何度も咀嚼することで自分の身になります。ここでの勉強も同じで、その時は身になっているのかわかりませんでしたが、あとで読み返したり、思い出したりして、少しずつ身になってきました。残念なのは、取りたいクラスがたくさんあったけど、全部取れなかったこと。修了生も学べる仕組みがあればいいなと思います。

■今の事業を今後どのように発展させていきたいとお考えですか？

まずはMyZoneを関東全域に展開したい。そして全国、そして海外にも。あふれる情報の中から、カテゴリ、時間軸、位置情報というスマホの特徴を活かして、今、本当に必要な情報だけがリアルタイムで提供されるようにしたいと思っています。事業で儲けるのは当然のことですが、事業を通して社会に貢献したい、立教にも恩返しをしたいと考えています。

■最後に在学生にひとことお願いします。

ここでの経験は本当に大きな経験です。良い学校、良い雰囲気、良い先生、良い仲間。社会人との両立は大変だと思いますが、ここでの経験は、必ず20倍、30以上になって返ってきます。ぜひ、がんばってください。

取材・文/岡村こはる 撮影/平松恵一郎

Profile

1972年、中国福建省福州市生まれ。1998年に留学のため来日、2007年立教大学大学院ビジネスデザイン研究科修了。現在は、アルゴジェーシー株式会社を設立し、スマートフォンAPP開発・運営、国際貿易、海外進出コンサルタント事業等を行っている。

<http://www.myzone.jp>

